

第3回国連防災世界会議 パブリック・フォーラム

子どものための心理的応急処置(PFA)

「子どもと養育者のための心理社会的ケア ～子どもにやさしい災害時の支援を考える～」

参加者募集について

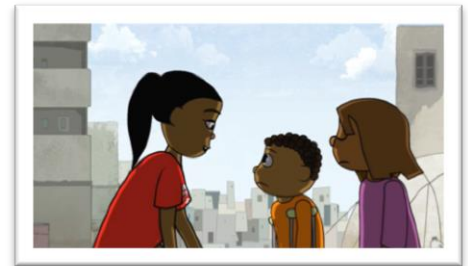
【フォーラム概要】

日時 : 3月14日(土)14時～16時(開場 13時45分)

場所 : TKP ガーデンシティー仙台勾当台(仙台パークビル)ホール3

参加費 : 無料

主催 : 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン (SCJ)



「子どものためのPFA」とは？

Ms. Anne-Sophie Dybdal

- なぜ、子どものためのPFAが必要なのか？
背景と現場のニーズから
- 子どものためのPFAは、子どもと支援者にとって
どのような効果があるのか？

「子どものためのPFA」現場の経験から

Mr. Kai Yamaguchi-Fasting &

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン職員

- 東日本大震災時の緊急支援現場と学びから
- 海外の支援現場から(中東の支援現場からの声)

災害・緊急時の初期対応はどうあるべきか？

専門家へ「つなぐ」ことの意義

金 吉晴氏

- PFAの有効性について
- 災害時精神保健医療対応へのPFA導入の動きについて

【問合せ】

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

東日本大震災復興支援事業部 西岡・赤坂

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-8-4 山田ビル 4階

TEL: 03-6859-6869 Email: pfa@savechildren.or.jp

セーブ・ザ・チルドレンは、国連に公認された子ども支援の国際NGOです。子どもたちの生きる・育つ・守られる・参加する「子どもの権利」を実現する社会を目指して、日本をふくめ、イギリスやアメリカなど30か国のメンバーと、約120の国と地域への支援を行っています。国内では、東日本大震災直後より岩手県、宮城県、福島県で緊急・復興支援活動を行っています。2013年にWHO版PFAをもとに「子どものための心理的応急処置(Psychological First Aid)」を開発しました。子どものためのPFAは、ストレスを抱えた子どもに対して誰もができる心理社会的ケアで、世界をはじめ日本でも普及が始まっています。

スピーカー

- 金 吉晴氏

(国立精神・神経医療研究センター

災害時こころの情報支援センター長 成人精神保健研究部長)

WHO版PFAの日本国内への導入・普及をリードし、SCJとともに「子どものためのPFA」の国内普及にも協力。

- Ms. Anne-Sophie Dybdal

(セーブ・ザ・チルドレン・デンマーク 子どもの保護シニアアドバイザー)

「子どものためのPFA」を開発し、世界各地で普及に携わる。ユニセフや国際赤十字社での勤務経験を有する。臨床心理士。

- Mr. Kai Yamaguchi-Fasting

(セーブ・ザ・チルドレン・デンマーク 子どもの保護シニアアドバイザー)

スーダンやアフガニスタンにおける国連等の人道支援分野での経験を有する。「子どものためのPFA」の開発・普及に携わる。